

豊山町歯と口腔の健康づくり推進条例

を制定しました

歯と口腔の健康づくり推進条例とは



歯と口腔の健康づくりは、生涯にわたる全身の健康の維持増進に欠かせないものであり、非常に重要な役割を果たします。

この条例は、歯と口腔の健康づくりを通じて町民の皆さんが生涯にわたる健康で質の高い生活を送ることができるよう、町民のみなさん、町、歯科保健医療等関係者、保健医療等関係者、事業者等の役割や町の施策を定めたもので、令和5年4月1日に制定しました。

基本理念

- (1) 町民の歯科疾患の予防、歯科疾患の早期発見・早期治療の促進
- (2) ライフステージや町民の実情に応じた適切かつ効果的な推進
- (3) 関連施策との有機的な連携や総合的な推進
- (4) 地域における取り組みの推進



歯科医療等関係者 (歯科医師、歯科衛生士など)

- 保健医療等関係者と連携し、適切に業務を行う
- 町が実施する施策に協力するよう努める



保健医療等関係者 (保健、医療、介護、社会福祉、労働衛生、教育関係者など)

- 歯科医療等関係者と連携する
- 町が実施する施策に協力するよう努める



町民のみなさん

- 歯と口腔の健康に関心を持ちましょう
- 定期的に歯科健診を受けましょう

事業者

- 従業員の歯と口腔の健康づくりを推進する
- 町が実施する歯と口腔の健康づくりに関する施策に協力する

豊山町

- 国、県、歯科医療等関係者、保健医療等関係者等と連携を図る
- 歯と口腔の健康に関する施策を総合的に実施する



～生涯にわたる歯と口腔の健康のために～ ライフステージに応じた口腔ケアに取り組みましょう！



	特徴	口腔ケア
妊娠・ 出産期	<ul style="list-style-type: none"> ● 妊娠中は、ホルモンバランスが変化し、歯周病やむし歯が進行しやすくなります ● つわりで十分なブラッシングができなかったり、食べ物や食事のリズムが変化することもあります ● 歯周病は早産や低出生体重児のリスクを高める可能性があります 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歯みがきがつらければ強めのうがいでもある程度の汚れは落ちますが、1日1回、就寝前にはきちんとみがきましょう ● 妊娠が分かったら歯科健診を受けましょう 
乳幼児期	<ul style="list-style-type: none"> ● 離乳食が始まると、舌や歯ぐきを使って食べ物をつぶします ● 生え始めの歯は、エナメル質が未成熟で歯が弱いです ● 乳歯のむし歯が永久歯に影響を及ぼすことがあります 	<ul style="list-style-type: none"> ● よくかんで食べる習慣をつけましょう ● 歯みがきの習慣をつけ、保護者が毎日仕上げ磨きをしましょう ● おやつは時間と量を決め、だらだら食べないようにしましょう
学齢期	<ul style="list-style-type: none"> ● 乳歯から永久歯に生え変わります ● 乳歯と永久歯が混在する時期は、清掃が難しくなります ● 歯肉に炎症所見がある人が増えてきます 	<ul style="list-style-type: none"> ● フッ化物配合の歯磨き粉にくわえ、デンタルフロスを使いましょう ● スポーツドリンクなどには糖分が多く入っているため、飲みすぎに注意しましょう
成人期	<ul style="list-style-type: none"> ● 歯周病が急激に増加します ● 歯周病は糖尿病、心疾患、脳梗塞など全身の健康に悪影響をおよぼす恐れがある重大な病気です ● 多忙になり、口腔ケアが後回しになりがちです 	<ul style="list-style-type: none"> ● デンタルフロスや歯間ブラシを使いましょう 
高齢期	<ul style="list-style-type: none"> ● 身体機能の低下と共に、歯の喪失や噛む力が低下します ● お口の機能が低下すると、誤嚥性肺炎のリスクが高まります 	<ul style="list-style-type: none"> ● よくかんで食べ、お口の体操をしましょう ● 入れ歯を使っている方は、自分に合っているか定期的に見直しましょう